

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和3年7月16日  
 独立行政法人福祉医療機構  
 経営サポートセンター長 佐藤 肇  
 経営サポートセンター  
 リサーチグループリーダー 松本 庄平  
 担当 内記・佐藤 (電話) 03-3438-9932  
 (FAX) 03-3438-0371

## 病院経営動向調査(2021年6月)の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎(3月、6月、9月、12月)に実施しています。今回は2021年6月に実施した本調査の結果についてご報告します。詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

### 1. 調査の概要

- 対象：病院(338施設)を運営する法人270法人(うち、医療法人212法人)\*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、新型コロナウイルス感染症の影響
- 回答数：病院：257 医療法人：150 有効回答数：病院：257 医療法人：150
- 有効回答率：病院：76.0% 医療法人：70.8%
- 実施期間：2021年6月1日(火)～2021年6月21日(月)
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI(景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出)に加工・集計して公表

### 2. 調査の結果

#### 【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が△15、療養型病院が0、精神科病院は△23となった。
- 医業利益のDIは、一般病院が△30、療養型病院が△15、精神科病院は△28となった。
- 医業収支(黒字・赤字)のDIは、一般病院が△18、療養型病院が27、精神科病院が9となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が△2、療養型病院が7、精神科病院は△21となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が△20、療養型病院が△27、精神科病院は△23となった。
- 病床利用率のDIは、一般病院が△33、療養型病院が△12、精神科病院は△38となった。

(補足)

- 医業収支(黒字・赤字)のDIは前回調査と比較して、一般病院で上昇、療養型病院および精神科病院で低下となっていた。3か月後の先行きも、一般病院で上昇、療養型病院および精神科病院で低下となっていた。
- 従業員数のDIは前回調査と比較して、一般病院および精神科病院で上昇、療養型病院で低下となっていた。
- 経営上の課題について、前回に引き続き人件費の増加と職員確保難を挙げる声が多かった。

#### 【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは前回調査より29%ポイント上昇の△5、事業費用のDIは前回調査より13%ポイント上昇の41、事業利益のDIは前回調査より24%ポイント上昇の△20、資金繰りDIは△5、従業員数のDIは△23となった。

#### 【新型コロナウイルス感染症の影響】

- 医業収益の2021年3月実績について、前年同月比で減収(1割以上減)となった病院の割合は、一般病院で24.0%、療養型病院で18.3%、精神科病院で31.9%となり、いずれも縮小傾向がみられた。
- 2020年度(2020年4月～2021年3月)において、医業収益が前年度比で減収(1割以上減)となった病院の割合は43.6%、事業収益が前年度比で減収(1割以上減)となった医療法人の割合は37.3%となった。
- 2020年度医業収益が前年度比で減収(1割以上減)となった病院の割合は、新型コロナウイルス感染症患者(以下「コロナ患者」という。)受入れ実績のある一般病院で50.6%、コロナ患者受入れ実績のない一般病院で49.3%となった。
- コロナ患者を調査時点で受け入れている病院の割合は、一般病院で41.4%、療養型病院で6.7%、精神科病院で4.3%となった。

以上